

会 議 録

会議名	平成 25 年度第 2 回岡崎市新型インフルエンザ等対策専門家会議
日 時	平成 26 年 3 月 19 日（水） 午後 1 時 30 分から 2 時 30 分
場 所	岡崎市保健所 げんき館 2 階 会議室
出席者	委員： 小原委員（議長）、奥野委員、辻委員、波多野委員 事務局： 片岡所長、大寫課長、片岡班長、玉置、土屋、深瀬 その他の出席者： 和田（愛知県がんセンター愛知病院）、杉浦、池田（岡崎市民病院）
1 開会あいさつ（片岡所長）	<p>岡崎市保健所長の片岡でございます。本日は、お忙しいところ、「平成 25 年度第 2 回岡崎市新型インフルエンザ等対策専門家会議」にご出席いただき、厚く御礼申し上げます。</p> <p>本日、岡崎市新型インフルエンザ等対策行動計画の策定のため、今年度 2 回目の専門家会議を開催させていただきます。</p> <p>さて、昨年中国で発生した鳥インフルエンザ A（H7N9）につきましては、本年に入りまして感染がさらに拡大しており、内閣官房新型インフルエンザ等対策室の報告によりますと、3 月 10 日現在、感染が確定した者は 384 名、死亡者は 118 名となっております。これまでのところ、ヒトからヒトへの持続的な感染は確認されておりませんが、行動計画の策定がますます急務となっている状況にあります。</p> <p>本市の行動計画（案）については、昨年 12 月に開催した専門家会議以降、庁内各課室等からの意見、2 月 6 日から 3 月 6 日までのパブリックコメント、特措法第 8 条第 5 項に基づく愛知県から助言を受け、行動計画（修正案）を作成しました。その他、3 月 7 日に特定接種（医療分野）の登録申請の受け付けが終了し、3 月 11 日付けで厚生労働省から「市町村のための新型インフルエンザ等住民接種に関する集団的予防接種のための手引き（暫定版）」が公表されました。これらの詳細については、後ほど事務局より説明させていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、本日も活発な御意見をいただきまして、今後の本市の新型インフルエンザ等対策に意義深い会議となるようお願い申し上げ、わたくしのあいさつとさせていただきます。</p>
2 議題（議長 小原委員）	<p>岡崎市医師会の小原です。委員の皆様方におかれましては、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。前回の第 1 回専門家会議では貴重な御意見をいただきありがとうございました。</p> <p>本日は、前回の専門家会議以降に実施された市役所各課室等からの意見及びパブ</p>

リックコメントを受けての岡崎市新型インフルエンザ等対策行動計画修正案を事務局から説明していただき、委員の皆様にご議論していただいた上で、岡崎市に最終的な行動計画を策定していただく予定です。委員の皆様におかれては、会議の進行に御協力よろしく申し上げます。

(1) パブリックコメントの実施結果について

【事務局から説明：資料1】

意見提出はメールでの提出が1件。高齢者世帯への情報策の検討を求める意見に対して、市の取り組み事項として行動計画（案）に既に記載されているため特に修正はしないこととする。具体的な高齢者世帯への連絡手段の一つとして、地震や風水害等の災害が発生した際に家族等の援助が困難で避難行動の助けを必要とする方（災害時避難行動要支援者）の登録制度の活用や、各地区の民生委員による個別の情報提供等を検討していきたいと考えている。

(2) 愛知県の助言及び庁内各課室等の意見を踏まえた岡崎市新型インフルエンザ等対策行動計画（修正案）について

【事務局から説明：資料2・3、参考資料1】

第2回岡崎市新型インフルエンザ等対策専門家会議で示した案の修正を、「字句の修正・追加」、「記載ミスの修正」、「担当部局の修正」、「愛知県の助言による修正」、「実施体制の変更」について説明。特に実施体制の変更については、「岡崎市危機管理指針」に基づく「岡崎市危機管理対策本部」を、海外発生期の段階から設置することが大幅に変更した点となる。

【全体討議】

小原議長 事務局からの説明によると大きな変更はないということでした。修正案について御意見・御質問等ありましたらご意見をお願いしたい。

小原議長 修正案に対する意見というわけではないが、感染性廃棄物の処理について気になっている。医師会員の診療所等では廃棄物業者に一括して処理を委託しているが、県内発生期には感染性廃棄物が大量に発生することが予想される。行動計画（案）では、海外発生期の欄に「感染性廃棄物の適性処理等」の記載があるが、その後の発生段階においても適正に処理されるようになっていかなければいけないと考えている。

小原議長 愛知県からの助言で、県内発生早期の医療体制として、「県と連携して」医療体制を移行すると記載が追加された。愛知病院の入院患者を受け入れる範囲を二次医療機関内と考えて、岡崎・幸田と考えていいものか。

奥野委員 おそらく愛知病院の所在する配置から考えると、安城・西尾・刈谷からも患者が来ることが予想される。実際に2009年には西尾、刈谷

からの患者も受け入れた。

小原議長 そうなるとやはり、岡崎市内では患者があまり発生していなくても岡崎周辺の患者が愛知病院に多数入院し、愛知病院がオーバーフローすることも有り得るということですね。そこで岡崎市内の医療体制を移行するにあたり、県と連携しないといけないということで了解しました。

事務局 医療体制の移行は中核市独自の判断でできると政府のガイドラインに記載がありますが、入院対応のみならず外来機能のキャパシティもあり、県と連携して移行を判断せざるを得ないと考えられます。なお、平成 25 年 4 月に刈谷豊田総合病院が第二種感染症指定医療機関に指定されたため、安城市民等が愛知病院に入院勧告されることはありません。しかし、刈谷豊田総合病院のキャパシティがオーバーすれば愛知病院に入院勧告される場合もあり得ます。

辻委員 市民病院は平時より外来も入院もぎりぎりな状況にあり、軽症な患者が民間の医療機関にうまく流れていかないと、市民病院の診療体制がパンクしてしまうことを常に危惧している。この状況で新型インフルエンザが発生したらと思うと。

小原議長 スムーズな病床の回転等の問題は、新型インフルエンザの対策を考える上でも早急に検討していかないといけない課題だと考えます。

小原議長 新型インフルエンザの被害想定について、マスで見ると大きな数字になるが、実際のところ一日あたりに医療機関を受診する患者は自分の計算だと 10 人から 20 人くらいになるのではないかと。そうするとそれほど大変ではないかと思ってしまうのですが、具体的な細かいところについても検討してみたいと思います。

小原議長 本行動計画は基本的にはガイドラインみたいなもので、細かなところは今後煮詰めていくことになるかと思えます。基本的にはこの修正案で了承することとし、あとは誤字・脱字等について再確認していただき、事務局に一任するというところでよろしいでしょうか。

委員 異議なし

(3) その他

【事務局から説明：資料 4、参考資料 2】

特定接種（医療分野）の登録申請状況及び「市町村のための新型インフルエンザ等住民接種に関する集団的予防接種のための手引き」について説明。

【質疑・応答】

小原議長 特定接種の登録について、②の重大緊急医療提供を行う事業で登録する医療機関はないということによろしいですね。西尾保健所に確認し

たところ、②で登録すると窓口事務員が登録できないということでしたが。

事務局 三重大学病院でも幅広く登録したいということで、①の新型インフルエンザ等医療提供を行う事業で登録するということです。

小原議長 透析や産科を行う医療機関等が①で登録してもよいのかという話もありますが、その辺は、ということで、とりあえずこの状況で、ということですね。

小原議長 眼科等は今回の特定接種の登録をしてないわけですが、そうすると眼科医等は住民接種で一般の市民と同じ順番でワクチン接種をするということですよ。

事務局 今の机上の段階ではそういうことになります。

小原議長 住民接種の手引きは暫定版ということで、今後変更が有るかと思いません。内容を見ると、医師は予診のみで看護師がワクチン接種をするとなっています。通常はワクチン接種するのは医師なんですが、これでいいんでしょうかね。

事務局 最終的には国からなんらかの指示が出ると思うが、この手引きを踏まえてということになると思うので、この内容とそんなに違うことにはならないと思う。

奥野委員 住民接種の手引きを作成したのは国ではないんでしょうか。

事務局 手引き（暫定版）の14ページの有識者になります。

小原委員 集団接種について、児童施設から学校に通学している子供たちはどこで接種をするかだとか、短期間で効率的に集団接種をしないといけないうだとか、今後いろいろ課題が出てくると思います。

辻委員 11ページの表は岡崎市が作ったものですか。

事務局 全て国の作成です。

小原委員 今後、国からいろいろ出たところで、岡崎市にあった形で集団接種を検討していきたいと思います。

3 閉会（大寫課長）

本日は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

以上をもちまして、平成25年度第2回岡崎市新型インフルエンザ等対策専門家会議を終了いたします。なお、今後のスケジュールといたしましては、3月中に行動計画の策定、議会への報告、報道発表を予定しております。

今後も、新型インフルエンザ等対策におきましては、必要な際に御意見をいただき、また、実際に新型インフルエンザ等が発生した際には皆様から専門的な御意見をいただきたいと思いますので、引き続き、よろしく願いいたします。